

歴史認識共有の実験

独仏共通歴史教科書を読む

講師 静岡県立大学准教授

剣持 久木(けんもち・ひさき)



国境を越えて歴史認識を共有することは可能だろうか。日本をとりまく東アジアで考えると悲観的な人が多いだろうが、ヨーロッパにおいてはこの問いに肯定的に考えようという試みが始まっている。2006年秋の新学期からフランスとドイツの高校で導入された(同一内容の)共通歴史教科書である。ヨーロッパにおいては、すでに共通歴史副教材が導入されて久しいが、今回の教科書は、文字通り正規の歴史教科書である点が注目される。本講座では、独仏共通歴史教科書実現に至る歴史的背景や経緯を探究し、導入後2年経た現時点での反響を様々な側面から分析する。さらに全3巻のうち(6月に日本語版が刊行予定の)第一巻と原著が5月に刊行予定の第二巻の内容を検討し、「ヨーロッパにおける歴史認識の共有」がめざすものについて考えてみたい。

開講日	テーマ
7月 3日	独仏共通教科書への道程：両大戦から1980年代まで
7月10日	独仏教科書の実現：冷戦の終結と青少年議会の発議
7月17日	共通教科書への反響：メディア、専門家、教育現場
7月24日	共通教科書第一巻：第二次世界大戦の記憶をめぐって
7月31日	共通教科書第二巻：19世紀のナショナリズムをめぐって
8月 7日	共通教科書の展望：ヨーロッパ共通の教科書と東アジア



<講師プロフィール>

1961年東京生まれ、上智大学大学院博士後期課程単位取得退学。現在は静岡県立大学国際関係学部准教授。専門はフランス現代史。主な著書に『記憶の中のファシズム』(講談社)、訳書に『ヴィシー時代のフランス』(共訳、柏書房)がある。

期間 7月~8月

日時 10:00~11:50

受講料 2ヵ月前納 全6回 17,640円

教材費 2ヵ月前納 750円

新入会の方は入会金4,200円が必要です。

お申し込み・お問い合わせは

名古屋市中区栄3の4の5 スカイル10階

TEL 052-249-5553